

静岡県評第78 回定期大会に寄せられたメッセージ(団体名)

◆ 全労連加盟地方組織

愛知県労働組合総連合
岐阜県労働組合総連合
石川県労働組合総連合
富山県労働組合総連合
青森県労働組合総連合
秋田県労働組合総連合
宮城県労働組合総連合
福島県労働組合総連合
茨城県労働組合総連合
埼玉県労働組合連合会
千葉県労働組合連合会
山梨県労働組合総連合
滋賀県労働組合総連合
京都地方労働組合総評議会
全大阪労働組合総連合
島根県労働組合総連合
広島県労働組合総連合
徳島県労働組合総連合

◆ 県内民主団体

静岡県平和委員会
静岡県労働者学習協会
静岡県民主医療機関連合会
静岡県生活と健康を守る会連合会
新日本婦人の会静岡県本部

静岡県評第78回定期大会へのメッセージ

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

定期大会にお集まりのみなさまへ、愛労連より心からの連帯とのご盛会のお祝い申し上げます。

歴史的な物価高騰が労働者・国民の生活を襲っています。その一方で大企業は、莫大な利益をあげ続け、内部留保は600兆円近くにも膨れあがっています。この内部留保を、労働者の賃金や社会保障に還元させるためにも、労働者・労働組合の真価をかけて声をあげ、たたかわなければなりません。

2025春闘、愛労連・愛知春闘共闘加盟組合では、納得のいかない回答に対し16組合・延べ25回・1569人がストライキで抗議しました。しかしながら、現在の物価高騰から生活を改善させる十分な賃上げには至ってません。そして、医療・介護・福祉分野など苦しい状況に置かれている労働者も多く存在します。

この夏、最低賃金は過去最高の63円引き上げの中央審議会の目安が出され、人事院勧告においても、近年最高となる3.62%の賃上げが示されました。しかし、まだまだ生活改善に至る賃上げには至っていません。最賃も人勧も更なる上積み求め、物価高騰から生活改善を実現する納得のいく賃上げをあきらめず、夏季、秋季年末闘争へと今後も粘り強くたたかいを続けます。

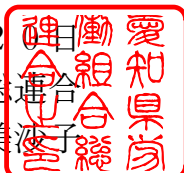
世界ではウクライナ、ガザでの戦闘行為はいまだ収まらず、イランの核施設への攻撃という衝撃的な報道もされました。戦後・被爆80年の節目となるこの夏、愛労連は7月の定期大会で「対話と学びあいで、戦争も核兵器もない未来をつくろう」とする特別決議を採択し、対話と学びあいを職場・地域でひろげ、すべての労働者の大幅賃上げも、誰もが安心してはたらき暮らせる平和な社会も実現させようと決意しました。10月には日本平和大会が愛知県で開催されます。平和のとりくみから核兵器のない世界をもとめる声を大きくし、誰もが安心してはたらき、暮らせる社会の実現へ大きく前進させます。

私たち労働組合の運動を大きく展開し、すべての労働者の大幅賃上げ、そして、社会保障費の拡充で誰もが安心して暮らせる社会の実現をめざします。すべての労働者の大幅賃上げと社会保障の拡充で、誰もが安心して暮らせる社会を実現にむけて、ともにがんばりましょう。

2025年9月20日

愛知県労働組合総連合

議長 西尾 美波子



2025 年 9 月 20 日

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁様

メッセージ

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会の開催、心よりお祝い申し上げます。

憲法改悪反対、社会保障の削減反対、消費税増税反対など、誰もが安心して暮らせる社会の実現をめざし、心からの連帯のメッセージをお送りします。

さて、世界ではロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるガザへの軍事侵攻など、戦争と分断が続いています。日本においても、安保関連 3 文書に基づく「敵基地攻撃能力」の保有が進められ、南西諸島を中心に自衛隊のミサイル配備が強化されています。防衛費の増大が進む一方で、国民生活に必要な社会保障や教育、福祉の分野では予算削減が続いています。自民党の裏金問題では逮捕者も出ており、政治への信頼は著しく損なわれています。

また、物価高騰や実質賃金の低下が生活を圧迫し、困難な状況が続いています。こうした中、地域では労働組合と住民、市民団体との共同が広がり、最低賃金の引き上げや、教育・医療・介護などの公共サービスの充実を求める声が高まっています。

一方、参議院選挙では、外国人に対する差別や排斥をあおるような言動が一部の候補者や政党から発信され、社会に大きな波紋を呼びました。私たちは、こうした排外主義的な主張に強く反対します。すべての人が尊厳をもって生きられる社会、多様性を認め合い支え合う社会こそが、真に豊かで平和な社会です。労働組合は、国籍やルーツに関係なく、すべての働く人の権利を守る立場から、共生社会の実現をめざして運動を進めていきます。

また、近年では若い世代が職場での理不尽に声をあげ、労働組合に結集する動きも広がっています。未来を担う若者たちが希望をもって働き、暮らせる社会の実現は、私たちすべての課題です。岐阜県労連も、多くの労働者・市民に寄り添いながら、地域に根ざした運動を粘り強く続けています。

私たちが目指すのは、「8 時間働けば人間らしく暮らせる社会」です。まともな賃金水準の実現、働きがいのある雇用、安心して暮らせる社会保障制度の充実、多様性と人権が尊重される社会の確立など、どれも欠かすことはできません。この確信を胸に、仲間とともに運動をさらに強めていきましょう。

静岡県労働組合評議会のますますの発展と、皆さまのご健闘を心より祈念し、メッセージとさせていただきます。

岐阜県労働組合総連合

議長 廣瀬 政美

第78回静岡県労働組合評議会定期大会 御中

第78回静岡県評定期大会へのメッセージ

静岡県評第78回定期大会に出席された代議員・役員の皆さんご苦労様です。日頃からのご奮闘に敬意を表します。

また、日頃から石川県労連へのご支援に感謝を申し上げます。とりわけ一昨年1月1日に発生した能登半島地震、9月の豪雨災害と二重の被災を受けた被災地へのご支援に深く感謝を申し上げます。

被災地の復興は大幅に遅れています。遅れている中に、頻繁に発生する大雨が被災地・者をさらに不安にさせています。復興の遅れの原因は半島、高い高齢者比率が高いなどの地域特性もありますが、自治体職員が大幅に減らされている状況の中、行政による初動の遅れと民間ボランティアを含む人的支援の受け入れが極めて少なかったことではないかと考えます。政府の被災者に対する支援の姿勢が問われます

被災者は生活再建への不安があります。重ねて、国民健康保険と後期高齢者保険の自己負担免除制度が6月で打ち切られました。このことで治療の中断を強いられる方も出てきています。

度重なる自然災害と共に、いのち・くらしの不安が広がっており、政府による被災者に寄り添った復興・生活支援が強く求められます。

石川県労連は被災地支援活動を引き続きすすめると共に全労連運動に結集し、働くルールを許さず、改憲反対・平和と民主主義を守る闘いを東海北陸ブロックの皆さんと共に連携・連帯して奮闘する決意です。

静岡県評の第78回静岡県評定期大会の盛会を祈念してメッセージとさせていただきます。共に頑張りましょう。

2025年9月20日

石川県労働組合総連合

議長 桶間 諭

2025 年 8 月 25 日

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

富山県労働組合総連合

議長 中山 洋一

メッセージ

静岡県評第 78 回定期大会の開催おめでとうございます。

日頃から静岡県内で働くすべての労働者の権利を守るために、日本国憲法をいかした賃金・労働条件の改善・雇用確保、ジェンダー平等の推進・ハラスメント根絶、反戦・平和社会の実現に向けてご奮闘されていることに心からの敬意を表すとともに、全労連の地域運動を牽引されていることに感謝申し上げます。

さて、厳しい物価高の中で労働者・国民の生活がますます深刻になっています。こうした中で先の参議院選挙では、裏金問題にフタをするばかりでなく、消費税減税など国民の負担軽減に背を向けてきた自公与党が過半数割れになりました。しかし、一方で補完勢力が票を伸ばすばかりでなく、生活苦の原因が外国人にあるかのような言説を弄し、「日本人ファースト」をかかげて差別を煽る極右政党が台頭するなど、政治的な混迷が深まっています。また、米トランプ政権による相互関税も日本経済に暗雲を投げかけています。

労働者の働き方も深刻です。労災補償の請求件数も認定件数もこの 2 年間で 38% も増え、特に精神疾患による認定数が 710 人から 1055 人へと 48% 増加しています。その原因としてのパワハラによる自殺者が 10 人、仕事の量と質による自殺者が 21 人にも達しており、職場環境の深刻化が窺われます。一方、賃上げによる経済の活性化が急務との社会的コンセンサスもできつつあり、きわめて不十分ながらも中央最低賃金審議会が加重平均 63 円の最賃引き上げの目安答申を行っています。労働組合として、今こそ、組合員の自覚的・主体的参加による対話と学び合いで仲間を増やし、労働組合のバージョンアップで賃上げ・底上げを実現することを社会的使命として奮闘する必要があります。

また、世界的には、ロシアによるウクライナ侵略の継続やイスラエルによるガザでの民族浄化ともいえる虐殺行為が続く事態は深刻です。これに連動して、世界的な軍拡競争が激化するとともに核戦争への危険度も増しています。日本でも、アメリカの要求をテコに 9 兆円近くの軍事予算が可決され、GDP 比 2% を超過しても軍拡を続ける意思を首相が表明する事態となっています。

こうした中で、本大会での積極的な発言が貴労連のさらなる発展の画期的な機会となることを念じまして、メッセージとします。

メッセージ

静岡県労働組合評議会第78回定期大会の開催おめでとうございます。

貴組織が、組合員の生活と権利を守ることと、平和と民主主義を守るたたかいを一体のものとして追求され、全国の仲間を激励する成果を収めているとともに、県民各層と共同の前進を一貫して進めていることに敬意を表します。

物価高騰が続き、食料品の価格高騰に拍車がかかっています。25年度予算は、社会保障は「自然増」を1300億円削減など物価高騰に苦しむ国民の願いには背を向けました。そうしたなか、軍事費の次年度概算要求は8兆8千億円と過去最大を更新しました。また、「後年度負担」はすでに16兆円を上回ったとの報道もあります。今後も大軍拡が続けば、国民は軍事費の莫大な負担を将来にわたって背負わされることになります。「戦争する国づくり」をストップさせ、平和と暮らしを優先の予算・政治に転換させることは急務です。

先の参議院選挙では、一部の候補者による排外主義、移民排斥、また外国人・移住者への差別と偏見をあおる言動、演説が公然と行われ、「違法外国人ゼロ」や「外国人優遇策の見直し」を声高に叫ぶ政党もあらわれました。一部マスメディアは排外主義が争点であるかのような報道を行ないその結果、排外主義・極右的潮流が議席を獲得することとなりました。外国人や女性、性的マイノリティをはじめとした少数者への差別と排斥、社会の分断に抗議の声をあげ、誰もが人間として尊重される、ジェンダー平等な職場と社会を実現しましょう。

戦後80年、日本の平和と安全を支えてきた憲法と戦後民主主義が根本から破壊されることは許されません。立憲主義の回復、個人の尊厳を擁護する政治の実現、労働者・国民のいのちと暮らしを守る政治への転換に向け共に奮闘しようではありませんか。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から14年が経過しました。第7次エネルギー基本計画では、原発「依存度低減」の表現をなくして「最大限活用」と原発推進を明記しました。青森県では、1995年4月に海外から返還された高レベル放射性廃棄物（ガラス固化体）の貯蔵期間とした「30年から50年間」が4月26日に30年を迎え、「搬出想定期間」に突入しました。未だに再処理工場の完成は見込めず、最終処分場調査・建設に期限内の搬出は困難です。世界の流れは原発からの脱却とクリーンエネルギー推進です。原発ゼロ、再生可能エネルギーへの抜本転換を実現するために広範な国民とともに運動をさらに進める必要があります。

静岡県評の新たな運動のスタートラインとして、定期大会が大きく成功されることを祈念し、連帯のメッセージといたします。

静岡県労働組合評議会第78回定期大会 御中

2025年9月20日

青森県労働組合総連合 議長 逢坂 拓

メッセージ

第 78 回定期大会にあたり、連帯とお祝いのメッセージを送ります。

貴労組が、組合員の生活と権利を守ることと、平和と民主主義を守るたたかいを一体のものとして追求され、全国の仲間を激励する成果をおさめていることに、心より敬意を表します。

長く続く物価高騰で、私たちの生活は大変な状況に追い込まれています。すべての労働者の賃金を大幅に引き上げることと、政府による責任を持った本格的な経済対策が求められます。今年の春闘、大企業では大幅なベースアップがあったと言われていますが、中小・小規模事業所の多くは昨年並みであったり、一時金に至っては昨年を割り込む状況すら生まれています。当たり前に暮らせる賃金の実現をめざし、取り組みを強化していかなくてはならないと思います。

昨年の衆議院選挙において、金権腐敗政治に国民が NO! の選択をし、政権与党は少数に転落しました。衆議院では改憲勢力が 3 分の 2 を割り込み、改憲発議ができない状態になりました。「高額療養費の上限引き上げ」も国民の強い反対の声によって動きをストップさせました。また、先の参議院議員選挙でも自民・公明が過半数を割り込みました。自民・公明の補完勢力や、排外主義・移民排斥、外国人・移住者への差別と偏見を煽る政党が大きく議席を獲得するという事態も発生しましたが、「何をやっても変わらない」「何も変わらない」という事ではなく、労働者・国民、働く者と県民・市民の協力協同、団結の力が発揮されれば、「変えられる」という事を目の当たりにしています。ここに確信をもって、最賃全国一律 1500 円、労働法制改悪阻止など労働者の要求実現、いまを生きる私たちの願いにこたえられる政治の実現目指し奮闘したいと思います。

秋田県労連は、皆様のたたかいに学び運動を前進させていく決意です。今後ともよろしくお願いいたします。

定期大会の成功と貴労組の発展を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2025 年 9 月 20 日

静岡県労働組合評議会
議長 菊地 仁 様

秋田県労働組合総連合
議長 高野 智子

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁様

第78回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

日頃より、労働者の生活と権利の向上をめざしご奮闘されておられることに心から敬意を表します。

全国地方最賃が出そろいましたが、わたし達国民の苦しい生活実態を解消するに足る額とは言えません。「実質賃金」は前年同月より1.4%減、過去最長を更新する26カ月連続のマイナス、物価高騰には追いつかない状況です。

自民党総裁選挙の報道は国民の目を欺こうとする意図が明らかなです。国民のいのち暮らしを守る政策が語られず、マスコミの責任を果たしていません。

国民が生活苦で悲鳴をあげているなかで、自公政権の重点は戦争する国づくりを進め安保関連3文書を閣議決定、43兆円の大軍拡と大増税、そして改憲をねらっています。

パーティー券疑惑は自浄できない自民党の姿を露呈し、国民の怒りの声は高まっています。先の国会で本来ならば、能登支援や生活救済策が優先課題であったはずでした。政治による格差を是正できず、国民の代表足る自覚は見取れません。こうした民意切り捨てを許してよいのかを国民県民に訴え、同時に一人ひとりが意見を持ち表現できることを周知していきましょう。「全国一律最賃制度・最賃1500円・1700円を目指す・男女の格差をなくそう」わたし達の主張が見える化し、そして仲間を広げ、たたかいを一緒にすすめましょう。

恒久平和主義、戦争放棄を掲げる日本国憲法を遵守し、話し合いによる国際平和の実現、アメリカ言いなりではない主権国家の政府の実現をめざして、草の根の運動をともにすすめようではありませんか。国民、県民を無視する政治を許さず「くらしと平和守れ」の私たちの声が届く国政を実現さしましょう。働く現場の隅々から、チェンジさせるため、来る総選挙で一緒に奮闘しましょう。

定期大会のご盛会を祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

2024年 9月20日

宮城県労働組合総連合
議長 高橋 正行

静岡県労働組合評議会
議長 菊池仁 様

メ ッ セ ー ジ

静岡県労働組合評議会第78回定期大会の開催、おめでとうございます。みなさんの日ごろからのご奮闘に敬意を表しますとともに、みなさんのたたかいに励まされていることも申し添えます。また私たちの活動に対するご支援に心から感謝を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から14年が経過しました。事故を起こした原発の廃炉の見通しは立っていません。放射線量が高いために自由に人が出入りすることができない「帰還困難区域」が7市町村に広く残されています。避難指示が出された12市町村の発表だけでも、5万4千人以上の住民が避難を続けています。

こうした中で、石破政権が原発の「最大限活用」をすすめ、関西電力が美浜原発の新設を打ち出したことは本当に許すことができません。原発を使い続けるということは、日本のどこかで、再び原発事故が起きる可能性が大きくなるということです。こんな未来は変えなければなりません。原発ゼロの実現と福島復興へ、引き続きご支援をお願いいたします。

国民の多数がねがっている消費税減税には背を向け、年金や社会保障費の削減を続ける政治、平和憲法を投げ捨て、大軍拡と「戦争する国づくり」に突き進む政治、こんな政治はもう終わりにしなければなりません。自民・公明政治を終わらせ、大軍拡をやめさせ、労働者、国民のいのちとくらしを最優先にする政治を実現しましょう。

本日の定期大会を機に、要求実現の運動でも、仲間増やしでも、さらに前進をつくられることを祈念し、メッセージとします。

2025年9月20日

福島県労働組合総連合
議長 野木茂雄

メッセージ

静岡県労働組合評議会第 78 回定期大会の開催を祝し、貴組合と組合員の皆さまに連帯と激励のメッセージを送ります。

ロシアによるウクライナ戦争、イスラエルによるガザ攻撃、インドとパキスタンとの戦争、イスラエルとイランとの戦闘、アメリカによるイラン攻撃等、最近の世界は戦争一色に染まっています。また、アメリカのトランプ大統領の登場で、関税の大幅な引き上げや民主主義否定の言動等によって、世界は混乱に陥っています。

一方、日本では、石破内閣が岸田内閣の「安保 3 文書」を引き継ぎ、敵基地攻撃能力の具体化や軍事費を 2027 年までに 43 兆円に増額することを強行しようとしています。しかし、平和はミサイルではなく、憲法と平和外交でしか守ることはできないのは言うまでもないことです。

石破首相の大軍拡路線のもとで、米や野菜の物価高が続き、国民生活は疲弊しています。本来ならば、消費税を 5 %にするなど増税路線の転換をすべきなのにそうになっていません。2024 年の衆議院選で、自公は少数与党になりましたが、日本維新の会や国民民主党は市民と野党の共闘を否定し、自公政権の悪法成立に手を貸してしまっています。

法人税を財源に消費税を減税すること、選択的夫婦別姓や同性婚を実現すること、これまでの自公政権の農政を見直し農家や次世代支援を充実させて農業生産者と消費者の生活を守ること、原発再稼働を許さず自然エネルギー政策を推進すること、最低賃金全国一律 1500 円以上を実現し非正規労働者や看護・介護などのケア労働者の賃上げを実現すること、私たち労働者の要求を実現する政治の革新を求めていく必要があります。

茨城労連は、今年のメーデーで「大軍拡・増税 NO! 物価高から労働者の生活を守ろう」をメインスローガンにし、大軍拡・増税反対の声を上げました。引き続き、茨城労連は静岡県労働組合評議会の皆さんとも連帯して、平和の実現と労働者の要求実現のための政治革新の運動に取り組んでいきます。

最後になりましたが、貴労働組合の定期大会が組合員の皆さまの積極的な討論で成功されることを心より祈念致します。

茨城県労働組合総連合
議長 鈴木 貴之



静岡県労働組合評議会 様

メッセージ

静岡県労働組合評議会第78回定期大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

日頃、職場労働者と地域のくらしを守るためにご尽力されていることに心より敬意を表するとともに、すべての労働者・国民のくらしを守り、平和の実現をめざして連帯のメッセージを送ります。

今、私たちは平和と民主主義が大きく問われる時代に生きています。ロシアによるウクライナ侵攻や、ガザ地区をめぐる武力衝突、アジアにおける軍備拡大など、世界情勢は不安定さを増しています。そして、日本政府は防衛費の大幅増額や敵基地攻撃能力の保有、さらには憲法改正に向けた動きを強めています。

また、今回の参議院選挙では、「排外主義」の潮流が台頭してきました。しかし、その潮流と攻撃の矛先が、やがてすべての人々に向けられ、経済的不安や格差と結びつき、さらなる社会的な不満と分断を生み出すのではないのでしょうか。

そのような情勢のなか、ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の田中熙巳さんは「戦争の準備、大軍拡で国民は守れない。核兵器がある限り、被爆者が経験したことが未来に起こりえる」と警鐘を鳴らし、「核なき世界を実現するために政治を変えよう、戦争をしない努力をしよう」と訴えています。

あらためて、職場での労働条件の改善とあわせ、平和と民主主義、社会的公正を守る取り組みを広げ、平和憲法を守り、二度と戦争を許さないという決意が、今こそ求められています。

埼労連は、憲法をいかし、ジェンダー平等の社会の実現、雇用破壊や労働法制の改悪を阻止して、すべての国民が人間らしく生き、働き、安心して暮らせる平和な社会の実現をめざし奮闘する決意です。

結びに、すべての労働者が人間らしく生き、安心してくらし働くことのできる社会の実現をめざし、静岡県労働組合評議会のみすますのご発展と、ご参会の皆さまのご健勝を祈念し、第78回定期大会にあたってのお祝いのメッセージといたします。

2025年9月20日

埼玉県労働組合連合会
議長 藤田省吾

静岡県労働組合評議会 様

メ ッ セ ー ジ

静岡県評第78回定期大会の開催にあたり、千葉労連を代表して連帯のご挨拶を申し上げます。

はじめに、静岡県評のみなさんが静岡県で働く労働者のくらしと権利を守るとともに、すべての労働者・国民と連帯し悪政阻止のたたかいでも日々奮闘されていることに対し、心からの敬意を表します。

先の参議院選挙は、昨年秋の衆議院選挙に続き、自民党・公明党の議席数が過半数を下回る結果となり、衆議院に続き、参議院でも少数与党となりました。衆・参両院で自民党を中心とした政権が過半数割れとなるのは、1955年の自民党結党以来初めてであり、日本の政治にとって大きな変化です。

一方で、参政党は「違法外国人ゼロ」や「外国人優遇策の見直し」を掲げ、議席を増やすなど社会の分断をまねいています。批判を向けるべきは外国人ではなく、自公政権による経済政策と再分配の失敗こそが是正されなければなりません。

自公の少数与党への転落、危険な逆流の台頭は、人間らしい生活を再生する歴史的な政治の模索のはじまりととらえることができます。新自由主義を乗り越え、共生社会の実現には、労働組合や地域の人々の中での対話と学びあいによって、つながりを取り戻すことでしか達成できません。自公政権とその補完勢力、排外主義・極右的潮流に正面から対決し、政治の転換をめざし、すべての働く者の要求実現、いまを生きる私たちの願いに応えられる政治を求めて、この国の主人公である私たちが声をあげて変えることを決意するものです。

誰もが人間として尊重される、ジェンダー平等な職場と社会を実現に向け、奮闘しようではありませんか。私たちは、憲法9条や25条が真に活かされる社会、国民のいのちと健康が何よりも大切にされ、労働者と中小業者が潤い、地域経済が好循環する社会の実現に向け、皆様とともに奮闘する決意です。

静岡県評のみなさんが本定期大会を成功させ、さらに組織と運動を発展させる方針を確立されることを祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。ともにがんばりましょう。

2025年9月20日

千葉県労働組合連合会

議長 寺田 勝弘

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

第78回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

第78回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。貴労組のみなさんが、労働者・国民の権利とくらしを守り、平和と民主主義を守るため、日夜ご奮闘されていることに心から敬意を表します。また、日頃から山梨県労へのご協力に深く感謝申し上げます。

労働者・国民の生活は、急激な物価高騰、実質賃金の低下、社会保障費負担の増額で、ますます苦しくなっています。その一方で大企業は、巨額の内部留保を溜め込んでいます。

賃上げの必要性は政府、大企業も認めていますが、急激な物価上昇や増税に追いつかず実質賃金は下がり続けています。OECD 諸国で、実質賃金が下がり続けているのは日本だけです。大企業や一部富裕層だけが恩恵を受ける一方で、貧困と格差が拡大しています。

いま必要なことは、すべての労働者の大幅な賃上げです。最低賃金引上げの目安答申がだされましたが、最低賃金近傍で働く労働者の生活改善はもとより、労働者全体の実質賃金の底上げという期待に応える目安答申とはなっていません。

大幅な賃上げには、大企業の内部留保の課税、賃金や下請け企業に還元することが必要です。消費税などの緊急減税、インボイス制度廃止、社会保障の充実で労働者、国民のくらしと命を守ることです。大企業優遇の政治ではなく、私たちのくらしを改善する政治を実現しましょう。

ロシアによるウクライナへの侵略戦争、イスラエルのパレスチナ・ガザでの虐殺行為が止まりません。いま世界では侵略戦争やめろ、虐殺を直ちにやめ「停戦」を、の聲が高まっています。国連憲章にも、国際法にも違反したロシア、イスラエルの侵略戦争は絶対に認めることはできません。日本国憲法に基づく平和外交が重要になっていますが、日本政府は、アメリカの言いなりで武器やミサイル爆買いしています。

今こそ、大軍拡をストップさせ、国民のいのちと健康・暮らしを守るのための運動を共に強めましょう。

貴定期大会のご成功を祈念し、山梨県労からの連帯のメッセージといたします。

2025年9月20日
山梨県労働組合総連合
議長 上間 正 央
公印略

静岡県労働組合評議会 御中

メッセージ

第78回定期大会の開催、おめでとうございます。

いつも、滋賀県労連の活動にご理解ご協力いただいていること、心から感謝申し上げます。力強いお取組みに心から敬意を表します。

自公政権は先の国会でも悪政を強行しました。軍事費 8 兆円の予算を決めたことや、学術会議法案は大問題です。民主的な国家には、学術の側からの多様な「耳の痛い話」を聴きつつ、時々重点を判断して政策化することが求められますが、その姿勢はありません。長年願われている選択的夫婦別姓も進まず、また、裏金、企業献金にメスは入りません。参院選では排外主義、移民排斥、また外国人・移住者への差別と偏見をあおる言動、演説が公然と行われました。差別を許さない世論を強化しなくてはなりません。

動きの監視と共通理解を深める学習をすすめ、安全安心の社会の実現のため、あらゆる共同を広げて、運動を強めていかなくてはならないと考えます。

滋賀県政においては、国民スポーツ大会施設建設や、大企業誘致、高専など大規模公共事業に大盤振る舞いの反面、県立病院の独立行政法人化の画策、県立病院の統廃合とベッド削減、移転計画の強行ののちの遅延などなど公的責任を放り捨てる姿が顕著です。長年要求されてきた養護学校の新設も兆しが見え始めましたが、スピード感がありません。県民、関係の団体個人と共同して、「公共を再生する」たたかいと位置づけ取り組んでいます。

わたしたちは「8 時間働けば暮らせる社会・賃金」「ひとりの『仕方ない』からみんなで「変える」へ」と進むよう取り組みを行ってきました。法律無視の事業者が跋扈していますし、最低基準である労働基準法を除外しようとする動きも強く見えてきています。認められるものではありません。この状況の中で、対話で仲間を増やし、声を上げ続けることをあきらめず、声を力にすることが強く求められていると痛感しています。憲法の理念が守り生かされ、当たり前が当たり前として生きる社会と未来のため、引き続き取り組みを強めます。

今日の皆さんの大会が明日からの運動をさらに強めることとなりますようにお祈りし、また、引き続きの共同の取り組みをお願いをしてメッセージとします。共に力を尽くしましょう。

滋賀県労働組合総連合
議長 衛藤 浩司



静岡県労働組合評議会 御中

メッセージ

静岡県評 第78回定期大会のご盛会を祝し、京都総評より心からの激励と連帯のメッセージを送らせていただきます。

食品が8月より連続して値上げが続く、お米は、昨年と比べると2倍近くの値段になるなど、厳しい物価高騰が続く中で労働者・国民のくらしは、ますます大変な状況となっています。25春闘においては、ベアにこだわり、物価高騰を上回る賃上げを求めて大いに奮闘してきました。同時に、すべての労働者の賃上げをめざし、最低賃金今すぐ1,500円の実現へと全力をあげて取り組みをすすめてきました。

はたらくルールの基本である労基法改悪のたくらみを断じて許さず、人間らしく働くルールの確立、誰もがふつうに暮らせる賃金と安心して暮らせる年金制度の実現などの切実な要求をかけた、消費税減税・インボイス廃止などの国民的要求と切り結んで取り組みをすすめ、労働組合らしく、元気にたたかっていきましょう

自民党のウラ金問題への怒りが、昨秋の総選挙によって少数与党へと追い込みました。今夏の参議院選挙でも与党が過半数を割り込みましたが、その後の政治状況はますます混とんとしています。私たちの要求が実現できる政治の実現、大軍拡を許さず、平和と憲法を守るたたかいにお互い全力をあげましょう。

今こそ、労働組合の出番です。すべての労働者に労働組合を知らせ、労働組合を強く大きくしていこうではありませんか。

静岡県評の一層の発展を祈念し、メッセージとさせていただきます。ともに、がんばりましょう。

2025年9月10日

京都地方労働組合総評議会
議長 梶川 憲

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会のご盛会おめでとうございます。

静岡県労働組合評議会みなさんが、労働者・国民の要求実現、平和と民主主義を守るために全力をあげられていることに敬意を表します。

物価高騰と実質賃金の低下が続き、多くの労働者・国民の生活は困難を極めています。

自公政権がすすめた大企業いいなりの金権政治は、貧困と格差を大きくし、物価高騰に苦しむ国民に暮らしの困難を押し付けています。先の参議院選挙では、多くの国民が自公政権に NO を突き付け、少数与党に追い込みました。

同時に、国民の中にひろがる漠然とした不安に付け込み、事実に基づかない排外主義的、高齢者軽視的なものの見方や考え方が横行し、国民の権利の制限など民主主義の根幹を揺るがす主張に支持が集まっています。生活苦に寄り添わず、民意を顧みない政治が、分断と差別をあおる動きを強めていることは、極めて憂慮すべき事態です。

世界情勢をみても、米国のトランプ大統領は、「相互関税」などの身勝手極まりない権利乱用をもって、米国のグローバル大企業の利益拡大、覇権大国として国の再構築をめざす世界戦略を推しすすめています。その影響は、日本の労働者の雇用と賃上げなどの経済に深刻なダメージを与えはじめています。グローバル経済で壊されてきた公務・公共サービスを再生させること、労働法制の改悪を許さず、地域経済を立て直す職場・地域からのたたかいが必要です。

さらに公務公共サービスについて、効率化の名のもとにサービスが切り取られ、併せて職員削減が進められる中で、公共が破壊されてきました。能登地震での復興をはじめ、自然災害での対応や各地の上下水道での事故など、住民の暮らしが守られない実態が浮き彫りとなりました。今こそ住民と手を取り、公共を取り戻す運動の強化が求められています。

また大阪では、維新型政治による労働者・労働組合への権利侵害とともに、住民サービス切り捨てが続く中、府民生活は増々困難を増しています。大阪府や自治体がすすめるべき施策を民間に投げ出し、公共の責任が問われています。民意に逆行する施策の押し付けを許さないたたかいと、大阪の経済も暮らしも壊すカジノ誘致反対の運動を強化し、地域循環型の大阪経済の立て直しやいのち・暮らし最優先の府政・市政へ転換していくことが求められています。

大阪労連は、貧困と格差の解消、持続可能な社会、戦争のない平和な世界をめざして、働く者の手で、未来をつくりだすためにたたかっていきます。私たちの要求が、最低賃金の引き上げの世論を作っています。8時間働けば、人間らしく暮らせる職場と社会の実現を求めて、「対話と学びあい」を大切にしながら職場や地域で一つひとつの行動をつなぎ大きな運動にしていきます。公共を取り戻し憲法がいかされる政治への流れを作り上げていくために、みなさんとご一緒に全力で奮闘する決意です。

この大会でのいっそうの貴組織のご発展を祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2025 年 9 月 20 日
全大阪労働組合総連合
議長 福岡 泰治

祝

第 78 回静岡県労働組合評議会 定期大会へのメッセージ

静岡県労働組合評議会の皆さんの日々のご奮闘に心より敬意を表します。

物価高騰と実質賃金の低下が続く中、私たちを取り巻く社会・経済環境は大きな変動を見せており、労働環境や雇用の不安定さが増しています。しかし、こうした困難な時こそ、私たち労働者が一つとなり、声を上げ、権利を守り抜くことが求められています。労働者の権利を守るため、団結し、共にたたかい抜きましょう。

戦争への道を進める政治が強まる一方で、労働者の団結と連帯こそが社会を変える力です。

私たちは、若者を再び戦場におくる愚かな選択をさせてはなりません。日本国憲法をもとに平和と民主主義を政府に守らせましょう。

しまね労連は、第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会を心よりお祝いし、連帯のメッセージを贈ります。

2025年9月20日

島根県労働組合総連合
議長 猪俣 邦顕





2025 年 8 月 25 日

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

広島県労働組合総連合
議長 神部 泰

メッセージ

静岡県労働組合評議会 第78回定期大会の開催おめでとうございます。

7月3日公示・20日投開票で行われた第27回参議院選挙は、昨年秋の衆議院選挙に続き、自民党・公明党の議席数が過半数を下回る結果となり、衆議院に続き、参議院でも少数与党となりました。

選挙戦では、一部の候補者による排外主義、移民排斥、また外国人・移住者への差別と偏見をあおる言動、演説が公然と行われ、政党の中にも「違法外国人ゼロ」や「外国人優遇策の見直し」を掲げ、排外主義を扇動する勢力がありました。

海外メディアからも、『日本人ファースト』の政党が厳しい移民政策を掲げて選挙で台頭、「極右が初めて政治のステージに」などと報じられました。引き続き、物価高騰やそれを上回る賃上げが早急に実現しないこと、年金、医療費、社会保障も含め将来への漠然とした不安、政治不信を外国人や女性、性的マイノリティをはじめとした少数者への差別と排斥に向け、社会に分断と排除を持ち込もうとする勢力には、断固として抗議の声をあげ、誰もが人間として尊重される、ジェンダー平等な職場と社会を実現するために奮闘することが必要です。

自公の少数与党への転落、危険な逆流の台頭は、人間らしい生活を再生する歴史的な政治の模索のはじまりです。その再生は、労働組合や地域の人々の中での『対話と学びあい』によって、つながりを取り戻すことでしか達成できないものです。自公政権とその補完勢力、排外主義・極右的潮流に正面から対決し、政治の転換をめざしましょう。すべての働く者の要求実現、いまを生きる私たちの願いに応えられる政治を求めて、この国の主人公である私たちが声をあげて変えていきましょう。

平和をめぐっては、ウクライナの侵攻に際してロシアの核兵器使用の威嚇、パレスチナ・ガザ地区へのイスラエルのジェノサイド、さらに、イスラエルとアメリカによるイラン核関連施設への先制攻撃など、核保有国による国連憲章を踏みにじる許しがたい蛮行が行われています。一方で核軍縮の取り組みは遅々として進まず、各兵器5大国の責任は重大です。

しかし、原水爆禁止を求める被爆者を先頭とした市民運動と国際社会の大きなうねりは、核兵器禁止条約を生み出しました。唯一の被爆国の日本政府はこの条約に署名・批准しようとはしていません。アメリカの「核の傘」から脱却し、速やかに署名・批准すべきです。

石破政権が発足して半年以上が過ぎ、はっきりしてきたのは、今多くの日本国民が物価高騰にあえぐなか、8兆7千億円もの軍事費(防衛費)を湯水のように使おうとしています。トランプ政権の中国包囲戦略に協力して核兵器使用の態勢づくり、「拡大抑止」の強化を図っています。また、指揮命令を米軍の下で行うことや日鉄呉跡地の複合拠点の整備など防衛省による土地購入の合意がすすむなど、台湾有事、中国を見据えた日米軍事協力体制が住民の声に背を向け急ピッチで進んでいます。今こそ、対話と共同をひろげ、憲法を守り生かし、平和な社会の実現のために共に声をあげ続けましょう。

貴評議会の『第78回定期大会』の成功を祈念するとともに、広島県労連もみなさまとともに、住民のいのちとくらしをまもるとりくみをすすめるとともに、すべての住民が安心して暮らせる社会の実現、大軍拡に反対し、憲法を守り生かす政治の実現をめざしてともに奮闘する決意を申し上げ、メッセージいたします。共に頑張りましょう。

メッセージ

静岡県労働組合評議会 殿

第78回定期大会を祝し、連帯のメッセージをおくります。

静岡県評のみなさんのご奮闘に敬意を表しますと共に、日頃私たちのたたかいにご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コメをはじめ食品など物価高騰は、労働者・国民の生活を直撃しています。実質賃金の低下で国内経済が疲弊するなか、政府・財界も「物価高を超える賃上げ」を唱えましたが、8月6日公表の毎勤統計速報では6月の実質賃金は前年同月比で1.3%減と依然として賃上げが物価上昇に追いついていないことが明らかになっています。大企業は内部留保金を積み増しする一方で、大半の労働者は物価高を超える賃上げとなっていない。大企業の内部留保金に課税して、中小企業支援に回し、すべての労働者の大幅賃上げ実現が求められています。また、物価高騰や人件費増が価格転嫁できない医療や介護の分野では崩壊の危機に迫られています。

先の参議院選挙では、自公政権にNO!の審判が下されました。一方で極右勢力の台頭など改憲勢力が強まり、戦争する国づくりに拍車をかけようとしています。南西諸島の軍事基地化や敵地攻撃ミサイルの配備、武器輸出・開発など軍事産業を推進し、戦前の様相をみせています。

今こそ、私たち労働組合の真価が問われるときです。「軍拡ではなく、国民のいのちと暮らしを守れ」の声を大きくあげ、大幅賃上げ、最賃全国一律1500円、中小企業支援、労働法制改悪阻止、消費税減税・インボイス中止、格差是正・ジェンダー平等、年金・医療・介護など社会保障拡充、改憲阻止、核兵器廃絶、原発ゼロなどの実現に力を合わせましょう。

静岡県評が本大会を機に益々前進されることを祈念します。

ともにがんばりましょう。

2025年9月20日

徳島県労働組合総連合

議長 山本 正 義



2025年9月20日

第78回静岡県労働組合評議会定期大会

議長 菊池 仁 様

連帯のメッセージ

静岡県平和委員会

代表委員 合戸政治

日頃から、平和と核兵器廃絶の運動にご協力いただき感謝申し上げます。

第78回静岡県労働組合評議会定期総会にあたり祝福と連帯のメッセージを送ります。

物価の値上がりに追いつく闘いが必要です。労働者の奮起と国内を横断した闘いが必要です。平和の問題も然り憲法無視の戦前回帰がたくまれています。自公政治の膿を出し労働者の政権を打ち立てる闘いがますます必要とされています。

静岡県においても憲法無視の軍拡や消費税の拡充を図り、トランプ政権の関税強化と軍事費の拡大を図り米国の武器を買いあさり、台湾有事をあおり日本を奈落の底に落とす、政治に労働者、平和委員会等は力を結集し怒涛の闘いを組みましょう。

9月には東富士演習場で「104訓練」の監視行動、10月には2025年日本平和大会 in 愛知に1名の代表を決めていただき感謝します。平和大会パンフで学習し共に平和の世の中をつくりましょう。

貴県評が総会を成功させ労働者と社会をまとめ奮闘することを願い連帯のメッセージとします。共に頑張りましょう。

静岡県労働組合評議会 様

メッセージ

第78回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。静岡県労働者学習協会より連帯のメッセージを送ります。

「自民党の一強」体制が崩れはじめ、国民の新しい政治を求めるプロセスが始まりました。先の参議院選の結果、衆参共に少数与党になった自公政権のもとで、労働者・国民の運動によっては、要求実現の可能性が生まれています。一方で、自民党の補完勢力や排外主義・極右的潮流が議席を伸ばしており、人権と民主主義を守る新たなたたかいも重要になっています。また、狂気とも云えるトランプ関税の影響も含め、日本経済は良くなる兆しは見えず、自動車など輸出産業を中心に、労働者の大量解雇の方針が表明されています。実質賃金は下がり続け、低賃金・不安定雇用が広がる中で、物価の高騰が労働者・国民の生活を脅かし、消費税減税、大幅賃上げ・物価に見合う年金、医療危機・介護崩壊などが差し迫った国政の大争点になっています。また世界では、イスラエルのガザ攻撃、ロシアのウクライナ侵略など平和への大逆流が起きています。日本被団協がノーベル平和賞を受賞し、核兵器廃絶への国際的注目が集まっていますが、自公政権は、核兵器禁止条約に背を向け、アメリカ言いなりの大軍拡の道を突き進んでいます。「いのちと暮らし、平和を守る」切実な要求実現のため、私たちは政治の大転換を図る必要があります。

こうした時期に労働組合には、「対話と学びあい」を強め「たたかう組織のバージョンアップ」をもう一段引き上げる、魅力的な運動の担い手をつくることが求められています。全労連は今年、学習教育要綱の改定を行い、「対話と学びあい」の新たな学習運動の提起をしています。対話をすすめるためには、よりよい社会をつくるための展望に確信を持つ仲間・活動家が必要です。「対話と学びあい」運動推進とともに、働く者の基礎理論の学習運動も並行して進めていくことが、求められているといえます。

静岡県労働者学習協会は、全国の学習組織や労働組合・各種団体と協力しながら、静岡県労働組合評議会を始めとした県内の労働組合運動や、国民的運動の一層の発展のために、共同の取組みを強め、力を尽くしていきたいと思います。

本定期大会の成功を契機に、貴組織の運動がさらに大きく前進することを祈念しております。共に頑張りましょう。

2025 年 9 月 20 日
静岡県労働者学習協会
会長 橋本 純



第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会が、ご関係の皆様のご尽力により開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

貴会のご活躍に心から敬意を表すとともに、日頃より私たち静岡県民主医療機関連合会の活動へのご理解、ご支援に心より感謝を申し上げます。

先立っての参議院選挙で、衆議院に続いて自公で過半数割れとなりました。この根底には、国民の間の格差と貧困の広がり、それに対する怒りがあることは明らかなです。しかし、自公政府は国民多数の世論である消費税減税に背を向け、最低賃金でも一定の改善は見られたとはいえ、時給 1500 円には程遠い状況です。

又この間、訪問介護の診療報酬の引き下げにみられるような、医療福祉削減政策は更に進行し、介護を担う人材の枯渇、医療機関、介護事業所の経営悪化、倒産も深刻化しています。

現在日本は、世界に例をみない急速な少子高齢化が進行し、その中で、「誰もが安心して住み続けられる街づくり」が求められています。私ども静岡民主医療機関連合会としても、地域の様々な方、団体と連携をしながら、「街づくり」を進めてまいりたいと思います。

ただし、その前提として、平和な世界の実現があります。ウクライナ、ガザの深刻な状況の下で、武力による平和が声高に叫ばれていますが、核をはじめとした抑止論が本当の意味での平和をもたらさないのは明らかではないでしょうか。逆に軍事費の増大が国民生活を脅かしているのも真実ではないでしょうか。

私どもは、平和で安心な、世界、国、地域の実現に尽くしてまいります。

最後に、貴会のこれまでの活動に改めて敬意を表させていただくとともに、より一層のご活躍を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2025 年 9 月 3 日
静岡県民主医療機関連合会
会長 齋藤 友治



ご挨拶

第78回静岡県労働組合評議会定期大会 様

大会の盛会をお慶び申し上げます。

「時給1000円前後で貯えもなくガンが診断されて医療費が払えないので生活保護を受けた」(50歳代女性)など多くの労働者は社会保障のない環境下に置かれています。そのような人々を励まし、ともに行動する会として私たちの会の役割があります。

皆さんからご支援いただいた「いのちのとりで裁判」も10年目でようやく本年6月に最高裁勝利判決をかちとることができました。国民的最低限を引き上げるたたかいは最低賃金の引上げとともに労働者の底辺を底上げする意味があります。生健会の対象者の多くは労働組合に組織されていない自営業者と労働者です。今後も自己責任社会を乗り越えるためともに手を携えていきましょう。

労働者の権利獲得、平和と民主主義、貧困からの解放にかける皆さんのたたかいに敬意を表し、大会の成功を祈念申し上げます。

2025年9月20日

静岡県生活と健康を守る会連合会
会長 水谷陽一

連絡先 静岡県生活と健康を守る会連合会
静岡県葵区柳町123番地
〒420-0007
電話 054(254)2998
FAX 054(255)7010



静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

メ ッ セ ー ジ

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。

今年の夏は、昨年以上の猛暑と豪雨の年となりました。物価の高騰も止まるところを知らず、特にお米の値段が高くなるばかりで、私たちの暮らしの不安は大きくなるばかりです。

昨年の衆議院選挙に続き、夏の参議院選挙で、自民党・公明党が過半数割れに追い込まれました。同時に選挙のなかで、事実と違う差別的発言が続き、排外主義を叫ぶ勢力が議席を伸ばしました。しかし、政治を動かすのは私たち国民の運動です。私たちがこれまで大切にしてきた声をあげ、行動することをあきらめず、おこなっていきましょう。

私たち新日本婦人の会は、草の根の運動から、憲法改悪反対、軍国主義復活を阻止、生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのため、皆さんとごいっしょに力を合わせ行動していきます。

静岡県下の運動を常に牽引していただいている静岡県労働組合評議会の皆さんに、心より敬意を表します。

第 78 回静岡県労働組合評議会定期大会のご成功を祈念いたします。

2025 年 9 月 20 日

新日本婦人の会静岡県本部

会長 田中嶋 直子